

ため池決壊の要因

ため池は、日頃から安全管理を行っています。想定を上回る大雨や地震により、堤防に亀裂や漏水が発生すると、弱くなった堤防が貯水に耐え切れずに決壊します。



大雨のとき

集中豪雨や長雨によって、ため池の水位が上昇すると、堤防にしみ込む水の量が増えるため、ため池決壊の危険性が高まります。また、流木などにより、ため池の洪水吐がふさがれてしまうと、堤防からの越流により、堤防が浸食され、決壊に至る恐れがさらに高まります。



大地震のとき

大地震では堤防に異常な力を受け、亀裂や漏水が生じ、強度低下により、水圧に耐えきれず決壊することがあります。大地震直後に決壊しなくても、堤防が損傷している場合があります。その後の余震で決壊することがあるので注意が必要です。



避難時の防災情報

ため池の異常に気づいたらすぐに避難・連絡！

貝塚市役所 072-423-2151	貝塚市消防本部 072-422-0119	貝塚警察署 072-431-1234
-----------------------	-------------------------	-----------------------

避難情報等	避難行動等
警戒レベル5 緊急安全確保 (市が発令)	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりましょう。
警戒レベル4 避難指示 (市が発令)	速やかに全員が避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
警戒レベル3 高齢者等避難 (市が発令)	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。 その他の人は、避難の準備を整えましょう。

気象情報の入手

ラジオやテレビ、インターネットなどで正確な情報をいち早く収集しましょう。周囲の様子に気を配り、少しでも不安に感じたら避難をするようにしましょう。

気象庁HP 警報・注意報などの気象情報は以下のホームページから確認することができます。
<http://www.jma-net.go.jp/osaka/>

おおさか防災ネット 登録して防災情報を確認しましょう。
<touroku@osaka-bousai.net>
に空メールして登録
※QRコードからメールを送信することも可能です。

地上デジタル放送テレビのdボタン 地デジ対応のテレビのリモコンのdボタンから、防災情報(避難準備・勧告・指示、開設避難所、降雨状況等)を確認しましょう。

※地震情報も閲覧できます

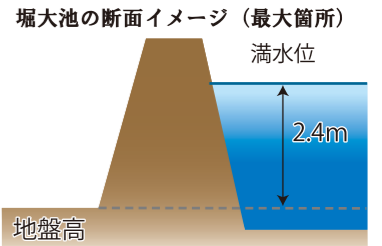
気象警報・注意報等発表基準

大雨・洪水 注意報	大雨・洪水 警報	大雨特別警報	記録的短時間大雨情報
雨によって引き起こされる災害のリスクを表面雨量指数・流域雨量指数で表現し、数値が基準へ達したかどうかにより注意報や警報を発表します。	発表基準の詳細説明は右のQRコードにアクセス！	数十年に一度の大雨が予想され、降水量が警報基準を大きく超えるような大雨	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨

雨の降り方と降雨量

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量 10mm以上～20mm未満	1時間雨量 20mm以上～30mm未満	1時間雨量 30mm以上～50mm未満	1時間雨量 50mm以上～80mm未満	1時間雨量 80mm以上
ザーザーと降る	どしゃぶり	バケツをひっくり返したように降る	滝のようにゴーゴーと降り続く	息苦しくなるような圧迫感恐怖を感じる

堀大池ハザードマップ



貯水量	3.5万 m ³
満水面積	2.04ha
満水位-地盤高	2.4m

堀大池は25mプール約73杯分の貯水量があります。(25mプールの貯水量約480m³として換算)

ため池ハザードマップについて

このハザードマップは、大雨や地震などの災害によって、万が一、堀大池が満水状態から決壊した場合に備え、地域の方々が安全に避難できるように作成したものです。ハザードマップには、堀大池が決壊した場合に想定される浸水範囲や浸水深、到達時間などの災害情報と、避難所の位置等を記載しています。日ごろから浸水が発生しやすい場所や状況を把握して、避難するときには雨の降り方や気象情報、防災情報などに十分注意するようにしてください。なお、地図に示した浸水想定区域以外でも浸水が起こる可能性がありますので、正確な情報を入手して早めの避難を心掛けましょう。

堀大池の耐震診断結果

堀大池は、大阪府による耐震診断結果により、直下型地震動及び海溝型地震動(南海トラフ巨大地震)に対して耐震性能を有していることが確認されています。しかし、想定を超える大地震の発生など、万が一ため池が決壊した場合の避難について考えておくことが大切です。

ため池ハザードマップを受け取ったら

- 1. 事前に浸水範囲や浸水深などを家族で確認しておきましょう**
 - 自宅と浸水範囲、浸水深、浸水到達時間などを確認し、印をつけておきましょう。
 - 災害時に協力できるように、災害について家族や地域で話し合しましょう。
- 2. 避難所・避難経路を考えておきましょう**
 - 安全な避難所や避難経路などを事前に決めておきましょう。
 - 実際に避難経路を歩いて、移動時間を確認しておきましょう。
 - お年寄りや障がいのある方への補助内容を決めておきましょう。
- 3. 防災情報の入手先を確認しておきましょう**
 - ため池の堤防が決壊すると、短時間で洪水が襲ってくる可能性がありますので、日頃から防災情報の入手先を確認しておきましょう。
 - 「避難時の防災情報」をチェック！
- 4. 市の公表しているハザードマップもご覧ください**
 - 貝塚市では地震・津波・風水害(洪水・土砂災害)の防災情報を掲載した防災ガイドブックを発行しています。このハザードマップと合わせて活用し、いざという時に備えましょう。